



INTERNATIONAL ROTARY

第2770地区

大宮東ロータリークラブ 週報

2025~2026年度

R1メッセージ

よいことのために手を取り合おう

基本的教育 識字率向上月間・ロータリーの友月間

Table with 4 columns: 例会日, 事務所, 会長, 幹事. Includes contact info and website URL.

点鐘 岡田 悦行会長 ゲスト&ビジター

◆小侯 陽平様 金杉建設株式会社 工事管理本部 部長 & インフラDX推進室 室長

ソング 国歌・奉仕の理想

会長挨拶 岡田 悦行 会長



皆さま、こんにちは。本日も大宮東RCの例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。9月に入り、日本ではこの時期、台風や秋雨前線の影響で大雨や強風が起りやすく、気象状況の変化には注意が必要です。特に近年は、局地的な豪雨や突風など、従来の統計では予測しきれない現象も増えてきており、防災の重要性は一層高まっています。9月1日は「防災の日」でした。非常用持ち出し袋の中身も時代とともに変わり、近年はスマートフォンの充電器や懐中電灯、飲料水などの確認が重要視されています。自然災害の影響は、私たちの生活基盤を支える道路や橋、建物などの社会インフラにも大きく及びます。そのため、社会インフラを守り、迅速に復旧し、未来へとつないでいく建設業の役割は極めて重要です。建設業は単に建物や道路を作るだけでなく、地域の安心・安全を支える土台そのものを築いていると言えます。本日のゲスト卓話は、そのような現場の課題に答える、まさに今、皆様の知っておきたい内容ではないでしょうか？ 金杉建設株式会社 インフラDX推進室 室長の小侯陽平様をお迎えし、「建設業のデジタル技術活用」というテーマで卓話していただきます。私たちに問われるのは、「人にしかできないことは何か」という視点です。ロータリーの基本理念である「奉仕」も、最終的には人と人の信頼関係、支え合い、心を通わせることに根ざしています。私たちロータリー会員も、クラブ活動や地域奉仕において同様の視点を持ち、個々の力を最大限に生かしながらチームとして成果を上げることが求められます。また、9月は「基本的教育と識字率向上月間」と定められています。新しい技術や知識をどう学び、どう使うかを考えることは、この教育の大切さと深く関わっています。本日の卓話では、小侯様から最前線での取り組みや具体的な事例、そして未来の展望についてお話を伺えることを、大変楽しみにしております。その学びを、私たち自身のクラブ活動や地域社会への奉仕にどう活かすか、会員全員で考えたいと思います。

幹事報告 横山 勇一 幹事



- 1. 今月のロータリーレートは147円です。
2. 9月24日(水)映画鑑賞例会後の懇親会で交換留学生のメロディーさんをお呼びして、歓迎会を開く事を理事役員会にて承認されました。
3. 8月20日の夜間移動例会の会計報告があり、理事役員会にて承認されましたのでご報告いたします。
4. 今年度もチューリップ球根の配布について協議され、理事役員会にて承認されましたのでご報告いたします。
5. 今年度の会員名簿の購入について協議があり、大宮東ロータリークラブとして、40冊購入することが理事役員会にて承認されましたのでご報告いたします。

9月の誕生祝・結婚祝い・入会祝い



☆☆誕生祝☆☆ ☆結婚祝・入会祝☆☆
小林 聡会員 8日 町田圭太会員 9日
井上 佳則会員 12日

表彰



ポールハリスフェロー

横山 勇一会員 瀬田 雄一会員
町田 圭太会員 小峰 敬右会員

委員会報告

ロータリー情報委員会 大石秀成 委員長

お手元にごきますロータリーの友9月号、2-3ページ、このロータリーの友は、世界各国に配布されているようで、左P2は世界共通語の英語、右は日本人の日本語です。「教育を通じた平和」、後半の部分に、教育は平和の構築であると共に、教育は特権ではなく権利であるという文言があります。私もそう思いました。次59ページ、「生成AIの全貌」。最終的な責任は誰がとるのか。AIは責任は取らないと、最終的な信頼の部分には人であってほしいと思いますと筆者のAI研究者の方が書いてありますけれども、これも私もそうだなと、最終的には人であるんだな、ということをおもいました。続いて、その隣に「その人を訪ねて」森絹子さん、川口RC。会長の時によくお見受けしました。NHKの体操のお姉さんで活躍されて、モダンバレエ普及50年も携わって。前もってこういう情報があると、お声がけできたのにおもいました。最後になります。51ページ。伊勢崎RC「海外4クラブを訪問 実感したロータリー」。私も機会があればアメリカのRCの例会に参加してみたいなとおもいました。以上です。ありがとうございました。

出席報告 糸川紀子副委員長

Table with 7 columns: 月日, 総員, 出席, 猶予, 欠席, MU, %. Shows attendance for 9/3 and previous meeting.

卓話



金杉建設株式会社
工事管理本部 部長
インフラDX推進室 室長
小侯 陽平様

「建設業のデジタル技術活用」

金杉建設小侯と申します。本日は、建設業のデジタル技術活用ということで、お話をさせていただきます。今は、三次元化なんですけれども、建設業といえば大きな重機というイメージがあると思います。ショベルカーで堤防を作っているのですが、当社はこの築堤工事をよくやっています。この映像は、斜面を重機で整形しているんですけれども、何の目印もなくやっているのがおわかりでしょうか。通常ですと、丁張りという目印を作りながら現場監督とかけながら、オペレーターさんはそれを見ながら整形をしていたんですけれども、今の技術だとそれがいらなくなっています。一般的に、デジタル技術を使った重機のことをICT建機といいます。次世代の施工や土木の技術が変わって新しくなったなどと言われております。今は寸法もデータで三次元で、バケットの先に制御がかかり、掘りすぎることがないのです。重機を全然乗ったことない人でも、時間さえあればやがてできると、もちろん乗ったことがある人が乗れば早いというような感じで、目印も何も掘ることができません。現場監督は目印を出す必要性がなくなるので、コスト削減に繋がります。これが今の最新の土木現場です。ICT建機の特徴は、後ろにアンテナが2本ついています。衛星で位置情報をリアルタイムで確認できます。簡単に言うとカーナビと一緒です。重機の場合は、工事の図面が入っていて、それ通りに動く感じなんです。アンテナの位置情報でバケットの先っぽの刃先の位置が分かるということです。以前よりスマートに施工が出来るようになっています。ドローンで測量もやっています。下にレーザーキャナーがついて、短時間で正確に測量することができます。地上掘削巨大文字を最新の技術を集めて作りました。ちなみに、これは完全にボランティアで、一般の方に建設業に興味を持ってもらえればと思って作りました。最後になりますが、建設業は人気がないんですけれども、デジタル技術の活用で、なんとなくキラキラしだしているのではないのかなと思います。人口が減っていく傾向がある日本ですが、こう自分の業界を見上げるようにそれぞれ皆さん頑張ってください。その業界が上に向いていくのかとおもっております。金杉建設はこの様な形で取り組んでおります。ありがとうございました。

スマイルBOX報告 糸川紀子副委員長

- * 澤田貴幸会員
* 井上佳則会員、高田照久会員
* 岡田悦行会長、清水伸洋会員、瀬田雄一会員、田中秋弘会長エレクト、三枝和男会員、山田博司会員、山田雅明会員、横山勇一幹事
* 糸川紀子会員、大石秀成直前会長、大屋文夫SAA、金子浩万会員、志村広会員、高原崇仁会員、立原靖広会員、堀口勝三会員、前裕美会員、横田勝美会員、渡部正司副会長
* 理事役員会懇談会残金

ご協力いただきありがとうございました。
23件51,810円 合計736,710円